

I Rの目的等

- 地域の創意工夫及び民間の活力を活かした
国際競争力の高い滞在型観光を実現し、観光及び地域経済の振興に寄与。
- 適切な国の監視及び管理の下で運営される
健全なカジノ施設の収益が社会還元され、財政の改善に資する。

I Rの性格

- **長期にわたり地域に根付き、貢献する意欲、実行力、資金力があり、信頼できる事業者の選定。**
- **民設民営**であり、**事業者間の健全な競争の下での、公募選定**が望まれる。
- 中核施設とカジノ施設は、**それぞれ独立し、各施設とも黒字化**を求められる
- カジノを含む開発行為であり、**地域や社会、自然との共生**が課題となる。
- 地域社会構成員の理解と支持がなければI R制度を活用してはいけないという**政治的意思**が求められる。そのため、**合意形成を重視した慎重な手順**が定められている。
- **極めて公共性の高い政策判断を伴う事業**であり、都道府県民の理解が不可欠。
- 地方自治体には、検討から申請までには、**かなりの負担とリードタイム**も必要。

I Rの性格

- 国が示す認定申請期間に向けて、**尽力・対応しなければ実現できない。**
観光庁がパブコメで示した認定申請受付期間（2027年11月締切）に間に合わせるべき。
（先行自治体：実施方針の策定着手から整備計画策定まで概ね2年程度）
- 手を挙げる事業者がなければ実現しない。
現状の施設要件でビジネスとして成り立つかは、I R事業者の考えが重要。
- 社会的にネガティブな影響への対処は、
付随的な配慮事項にとどまるものではなく、
I R制度の正当性を支える前提条件として、築かれる必要がある。
- 社会的影響対策の実効性が確保されなければ、
I R全体に対する社会的な信頼性が損なわれる恐れがある。
結果として、事業の継続性そのものにも影響を及ぼしかねない。
- I R整備により、**何らかの社会的な損失**はある。
その危害をできる限り少なくすることは、政策的にも重要。
- 依存症はパブリックヘルスの問題として今存在している。**
I R開業後という将来の問題としてではなく、**今から問題を縮小するという施策が必要。**

I Rの政策目的

- **全道域へのインバウンド送客**を通じての広域観光振興、経済活性化に貢献。
- **観光の地域偏在と季節偏在の解消**など北海道観光に関する**起爆剤**となり、本道の持続可能な経済成長を促進する循環構造を形成。
- 来場者数、観光客数増、経済波及効果などの指標と公共として実現すべき目標設定。
- **建設工事など開業までの効果**も相当大きい
- 安定雇用の創出と交流人口増加、二次交通の充実、**納付金による大幅な税収効果。**
- I Rによる経済波及効果、税収効果による社会問題の解決。
- 北海道において求められる **I Rの施設・機能と政策的役割。**

北海道らしいI R

- 都市型ではない**本道の優位性がある自然を中心とする北海道でしかできないI R。**
- **全道域への訪日客を送り出す送客機能**は、北海道観光の**ゲートウェイ**。
- 北海道全体の魅力を発信する基地となる**ショーケース機能**。

I R政策の有効性

- **カジノ施設で大きな収益を上げさせて社会還元させる仕組みは、オンラインギャンブル需要が高まる中、カジノ施設の需要についての見通しは、世界の政治経済的に将来にわたり有効か。**
- **制度設計は20年前のもの、当時と観光・地域社会を取り巻く環境が大きく変容。**
- **地域のあるべき姿の実現のための手段としてI Rを選択できるか検討を要する。**
- **まず、現在の施設要件で北海道らしいI Rを実現できるか議論することが重要。**
- **地域の施設ニーズや投資採算性から見て合理的か、柔軟に考える必要がある。**
- **地域毎に施設需要と供給が同じではない。 地域事情を考慮し、要件緩和を検討。**
- **M I C Eを大きな柱とするが、柔軟な姿勢でI R施設の機能・規模を検討すべき。**
- **違法性阻却のための施設要件であり要件数値基準緩和のハードルは高い。**
- **施設要件の基準が適切なのか基準変更や緩和にチャレンジすることも意義ある。**
- **箱物ではなく「サービス」「コンテンツ」を重視する資金レベルでスケールの大きいI R。**

ギャンブル等依存症

- **潜在的な**数値であるが**ギャンブル依存症状態**にある者は、**全国で200万人近く**。
- **ギャンブル依存症は、治らない病気**。施設に入所している方々は、氷山の一角。**IRができればカジノの依存症の方が現れる**のは確か。
- **ギャンブル依存症により生じる**離別、暴力、犯罪、自殺といった**問題**は、**社会的なコスト**としてとして計算されている。
- 依存症状態になってしまった方には、**予防やカジノ規制はあまり効果がない**。
- **相談件数が増加**しているが、**北海道**で医療として取り組んでいるのは**6ヶ所**。
- ギャンブル依存症の**若年化が顕著**。圧倒的に**男性が多く**、**6割近くがオンライン**。
- 子供の遊びの中心は**ゲーム**。ゲームとギャンブルが近くなってきており、**ギャンブル問題が広がる要因の一つ**になりかねない。
- **オンラインカジノ**に関して、**統一的な基準により実効性のある対策を講じるべき**。